

一般社団法人地理情報システム学会第 17 回理事会 議事録

開催日時：平成 23 年 8 月 6 日 10 時 00 分～12 時 15 分

開催場所：東京都文京区本郷 7-3-1 東京大学本郷キャンパス 工学部 14 号館 11 室

出席者： 理事： 吉川（会長），大澤，小荒井，柴崎，玉川，寺木（事務局長，記録）

監事： 長島

配付資料： 2011_0804_GISA_第 17 回理事会資料，追加資料

議事

1. 開会

- ・ 吉川会長から 10 時 00 分に開会が宣された。
- ・ 定足数に達しており，理事会の成立が確認された。

2. 審議事項

1号議案 選挙管理委員長の指名について

寺木事務局長から配付資料により説明があった。討議の後，以下の会員 2 名を候補者とし，吉川会長が先ず第 1 候補者と連絡・調整することが決定した。

- 1) 布施孝志氏：東京大学大学院工学系研究科社会基盤学専攻
- 2) 荒井良雄氏：東京大学教養学部総合文化研究科広域科学専攻広域システム科学系

2号議案 国際地理学連合 IGU サンティアゴ地域会議における日本紹介展示へのご協力をお願い

寺木事務局長から配付資料に基づき，標記の依頼に関する説明があった。それに対して下記のような指摘があった。

- 定期会議は 4 年に一度行われる。直近では 2008 年にチュニジア（チュニス）で開催され，2012 年にドイツ（ケルン）で開催される予定である。
- 地域大会は定期大会の間の年に開催される。昨年はイスラエルで開催され，有志からの寄付を GIS 学会を通じて寄付した。
- サンティアゴ地域会議向けの寄付は今年度予算に計上されていない。
- 2013 年に日本で地域大会を実施する予定で，それに向けて GIS 学会は毎年 25 万円を積み立てている。会費増を検討するなど財政的に逼迫している状況で，更に負担をすることは難しい。

討議の結果，以下の事項が決定した。

- 事務局から展示物として学会誌を提供する。
- 寺木事務局長から，小口渉外委員長，矢野教育委員長に昨年と同様の対応が可能であるか検討することを依頼する。

3号議案 総会の議題について

以下の各項目について討議が行われた。

* 会費改訂案

前回理事会で次の会費改訂案が決定したことを確認した。

- 正会員： 9 千円（郵便振替は 1 万円）
- 学生会員： 4 千円（郵便振替は 5 千円）

* 東日本大震災関連

報告 2 東日本大震災に対する活動内容の募集についての報告

寺木事務局長から配付資料に基づき、1 件の提案と 1 件の意見があったこと、が説明された。

東日本大震災に関する提言の公表

柴崎企画担当理事から追加資料に基づき、6 件の提言がありインターネット上で公開されたこと、が説明された。

これらに対して以下のような指摘があった。

- の提案に関して FOSS4G 分科会と防災 GIS 分科会の連携が必要である。
- 既に他の学協会などで実施されている調査・研究などが知られておらず、情報提供が必要である。
- 何かをやらなければいけないという認識はあるが、どうすればよいかわからないのではないか。
- 今回の震災に対して GIS 学会の特性上、他の学会のようにテーマを絞った活動が難しいのではないか。
- 学会の Web サイトをみれば活動がわかるようにすることが重要である。
- 過去の関連研究、調査、競争的資金による調査研究課題や関連分野の専門家に関するメタデータ集、Link 集をつくとよいのではないか。

討議の結果、以下の事項が決定した。

- FOSS4G 分科会と防災 GIS 分科会、柴崎企画担当理事、寺木事務局長で提案の実現に向けて検討を行う。
なお、寺木事務局長が日程調整などの事務に関して担当し、小荒井分科会担当理事に進捗状況などを報告する。

* GIS 学会のサービスと運営ビジョン

柴崎企画担当理事から追加資料に基づき説明があった。

* 今年度大会

玉川大会・編集担当理事から追加資料に基づき説明があった。7 件の特別セッションが企画されており、うち 4 件は東日本大震災関連のテーマであることなどが説明された。

これに対して以下の指摘があった。

- 東日本大震災に関するテーマを横断するシンポジウムを企画するべきである。
- シンポジウムは震災対策予算により今年度中に実施することが望ましい。

討議の結果、以下の事項が決定した。

- 柴崎企画担当理事が上記シンポジウムの実現に向けて検討を行う。

* 学会誌

玉川大会・編集担当理事から追加資料に基づき、下記のような説明があった。

- 学会誌「理論と応用」に関するアンケート調査に対して 116 件の回答があった。
- 冊子体の存続希望と電子媒体のみへの移行の回答数は概ね 4:6 である。
- 冊子体を無料配布すべきかどうかを冊子体の存続希望者に対して聞いた設問については、無料配布が圧倒的に支持された。

これに対して以下の指摘があった。

- デジタル化のメリットとして、掲載決定後すぐに公開されることがある。この点で既にサービスが向上している。
- 冊子体を無くしても、作業工程上、同等の作業が必要であり、費用削減効果は小さいのではないか。
- ニュースレターと学会誌の性格分けが不十分である。Twitter や Facebook などの新規メディアの導入を含めて検討すべきではないか。
- ニュースレターで技術情報の提供を検討すべきではないか。
- 学会誌が専門分野に分かれていないので、横断的に見られるのがよい。
- 読み物的な記事がない。
- レビュー論文があると良い。
- 学会誌での特集記事は査読論文とすることが難しい。
- GIS-next 誌との連携すると良いのではないか。

討議の結果、以下の事項が決定した。

- 事務局が、冊子体の作成を取りやめるときの費用削減について検討を行う。
- 寺木事務局長が正木広報担当理事に、ニュースレターと学会誌の役割分担、新規メディアの導入などについて検討を依頼する。

3. 報告事項

報告 1 職務執行状況について

財務、広報、GISCA の活動報告があった（各担当理事欠席のため、寺木事務局長が代読）。GISCA について、「原則として GIS 学会員」であることを理由に測量技術者認定が却下されたことに対して以下の指摘があった。

- 実績として学会員以外が多い。「原則として GIS 学会員」をはずすべきではないか。

討議の結果、以下の事項が決定した。

- 寺木事務局長から太田 GISCA 担当理事に上記の指摘について意見を聞く。

小荒井分科会、支部担当理事から、GIS-next 誌の関西支部関連記事掲載などの活動報告があった。

（なお、企画、編集、大会については、上述の通り、3号議案の検討時に活動報告、討議があった。）

4. その他

次回理事会、臨時社員総会について 10 月 14 日に鹿児島大学で開催されることが確認された。

5. 閉会

・吉川会長から12時15分に閉会が宣された。以上の決議を明確にするため、事務局長寺木彰浩が本議事録を作成し、議長及び出席理事を代表して理事大澤 裕が書名捺印する。

出席理事及び監事

理事 吉川 眞

理事 大澤 裕

理事 小荒井 衛

理事 柴崎 亮介

理事 玉川 英則

理事 寺木 彰浩

監事 長島 雅則

平成23年8月8日

一般社団法人地理情報システム学会

議 長 吉川 眞

理 事 大澤 裕

理 事 寺木 彰浩

以上

作成： 2011年8月7日（寺木）

修正： 2011年8月8日（吉川）